

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010201030100		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	学校給食運営事業		予算事業名	学校給食運営事業	
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課	
		施策名(中)	家庭・地域・学校が連携し健康な子どもを育てる		担当課長	山本 哲也	
		取組み事項	学校給食の充実と食育の推進を図る		実施計画への記載	無	
					担当者名	竹口 智哉	
					主要事業の指定	無	
実施計画事業名		学校給食食育推進事業		学校給食運営事業			
		学校給食室集約事業					
根拠法規及び関連法規		学校給食法(昭和二十九年六月三日法律第百六十号)					
事業の目的	誰のために(具体的に)	幼稚園、小中学校の園児、児童、生徒及び保護者					
	誰(何)を対象として	園児、児童、生徒の健康増進、保護者の負担軽減					
	意図(どのような状態にしたいのか)	学校給食による園児、児童、生徒の体と心の健全な育成					

2 事業の概要 Do

実施の概要		幼稚園から栄養バランスのとれた学校給食を無料で提供する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	給食実施回数	回	183	168	175	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	7.657	7.160	94	8.126	113		
	臨時職員	20.884	21.291	102	17.542	82		
支出内訳	人件費	115,119,674	107,579,159	93	103,672,312	96		
	事業費	118,048,477	110,991,752	94	121,662,032	110		
	合計	233,168,151	218,570,911	94	225,334,344	103		
財源内訳	国庫支出金			-	418,000	-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他	108,990	112,040	103		0		
	一般財源	233,059,161	218,458,871	94	224,916,344	103		
	合計	233,168,151	218,570,911	94	225,334,344	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		給食無料化事業実績						
指標説明(式)		給食費を無料化したことによる保護者の負担軽減額						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
円	目標	106,352,000	102,476,000	96.4	103,233,000	100.7		0.0
	実績	98,258,209	91,808,358	93.4	99,144,453	108.0		
指標名2		学校給食における地産地消食材の使用実績(相生市内産)						
指標説明(式)		地産食材品目数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
品	目標	35	35	100.0	35	100.0		
	実績	35	30	85.7		0.0		

【効率性】

指標名1		1日あたりの給食経費							
指標説明(式)		事業費÷給食実施日数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	-	682,117	-	558,017	81.8			
	実績	645,073	546,478	84.7	566,539	103.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	西播磨地域の地産食材を積極的に取り入れることで、食育の推進を図った。	4
	上位施策への貢献度	幼稚園・小・中学校給食完全無償化を実現しており、子育て世代に対する定住促進施策の一助となっている。	
効率性	執行体制の効率性	7月、8月の給食実施日においても、適切な人員配置や、給食室内の環境を整備するなど、安全・安心な給食を提供できる体制を維持することができた。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	那波小学校及び矢野小学校給食室廃止による、給食設備等の更新計画の見直し。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	学校施設管理の担当課である管理課と連携し、給食設備等の更新計画作成及び正規給食員・会計年度任用職員の適正人員配置について検討する。

配点	32.5
総合評価	26.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010201040100		事業の種類	5	
年度	2	事務事業名	学校支援地域本部事業		予算事業名	学校支援地域本部事業 優先度 3	
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課	
		施策名(中)	家庭・地域・学校が連携し健康な子どもを育てる		担当課長	桑名 雅彦 担当者名 末政 友紀	
		取組み事項	家庭・地域・学校の連携を深める		実施計画への記載	無 主要事業の指定 無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	小学校児童、中学校生徒					
	誰(何)を対象として	小学校児童、中学校生徒					
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域住民による学校支援活動を行い、地域全体で学校教育を支援する体制を整備する					

2 事業の概要 Do

実施の概要		学校支援ボランティアの活動により、学校教育を支援する				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	年間活動日数	日数	230	235	230	
	ボランティア登録者数	人	640	682	655	

3 投入資源

		一般会計						事業費単位:円	
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比			備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103			
	参事以下職員	0.064	0.064	100	0.084	131			
	臨時職員	0.451	0.400	89	0.400	100			
支出内訳	人件費	2,094,335	1,867,669	89	2,040,692	109			
	事業費	244,700	225,900	92	221,600	98			
	合計	2,339,035	2,093,569	90	2,262,292	108			
財源内訳	国庫支出金			-		-			
	県支出金	553,580	450,900	81	581,200	129			
	市債			-		-			
	その他			-		-			
	一般財源	1,785,455	1,642,669	92	1,681,092	102			
合計		2,339,035	2,093,569	90	2,262,292	108			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		年間活動数							
指標説明(式)		回数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		前年比	備考
回数	目標	3000	3000	100.0	3000	100.0		0.0	
	実績	2726	2736	100.4	2028	74.1			
指標名2		ボランティア登録者数							
指標説明(式)		ボランティア登録者数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
人	目標	700	700	100.0	700	100.0			
	実績	640	682	106.6	655	96.0			

【効率性】

指標名1		実施校一校あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷実施学校数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	236870	235876	99.6	179655	76.2			
	実績	233903	209357	89.5	167280	79.9			
指標名2		登録ボランティア一人あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷ボランティア登録者数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	3383	3369	99.6	2566	76.2			
	実績	3654	3070	84.0	2554	83.2			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	年間を通じてボランティアの参加を呼びかけ、登録数の増につながった。	3
	市民サービス	ボランティアによるさまざまな学校支援活動を通じて、児童生徒への支援を行う。	
効率性	手段の最適性	ボランティアの登録は、学校を通じて行った。	3
	手段の最適性	登下校の見守りや環境美化活動など、学校支援活動を実施し、学校教育を支援するとともに、学校と地域住民との連携を図った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	登録ボランティアの確保。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	ボランティアに地域住民が入ることで、地域の教育力が活性化される。

配点	32.5
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202010100		事業の種類	1		
年度	2	事務事業名	小学校特別支援教育就学奨励事業		予算事業名	小学校特別支援教育就学奨励事業		
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課		
		施策名(中)	たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	佐原 正樹	担当者名	松本 千華
		取組み事項	確かな学力の定着を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
		実施計画事業名						
		根拠法規及び関連法規	補助金等適正化法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	特別支援学級へ就学する児童の保護者						
	誰(何)を対象として	学費の一部						
	意図(どのような状態にしたいのか)	経済的援助を行う						

2 事業の概要 Do

実施の概要		特別支援学級へ就学する児童の保護者に対して学費の一部を補助し、経済的支援を行う。			
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績
	対象人員	人	22	27	31

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.088	0.088	100	0.088	100		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	1,023,932	1,025,029	100	966,680	94		
	事業費	661,779	882,432	133	920,876	104		
	合計	1,685,711	1,907,461	113	1,887,556	99		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	1,685,711	1,907,461	113	1,887,556	99		
	合計	1,685,711	1,907,461	113	1,887,556	99		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		特別支援教育就学奨励費支給割合						
指標説明(式)		該当者への支給割合						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	0.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		特別支援教育就学奨励費対象者の把握方法							
指標説明(式)		学校教育課及び学校との連携によりもれなく把握している。							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	児童の教育の機会均等が図られている。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	法令の意図する状態に合致している。	
効率性	コストの節減	国庫補助基準を準用しているため、減額は適さない。	4
	執行体制の効率性	学校及び学校教育課との連携が不可欠。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね順調である。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	普通学級の補助対象者についても、学校等と連携し情報把握に努める必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	必要な情報や制度の周知など、速やかに各学校及び対象者へ発信する。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202010200		事業の種類	1		
年度	2	事務事業名	中学校特別支援教育就学奨励事業		予算事業名	中学校特別支援教育就学奨励事業		
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課		
		施策名(中)	たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	佐原 正樹	担当者名	松本 千華
		取組み事項	確かな学力の定着を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
		実施計画事業名						
		根拠法規及び関連法規	補助金等適正化法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	特別支援学級へ就学する生徒の保護者						
	誰(何)を対象として	学費の一部						
	意図(どのような状態にしたいのか)	経済的援助を行う						

2 事業の概要 Do

実施の概要		特別支援学級へ就学する生徒の保護者に対して学費の一部を補助し、経済的支援を行う。			
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績
	対象人員	人	6	4	15

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.088	0.088	100	0.088	100		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	1,023,932	1,025,029	100	966,680	94		
	事業費	145,577	275,550	189	558,214	203		
	合計	1,169,509	1,300,579	111	1,524,894	117		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	1,169,509	1,300,579	111	1,524,894	117		
合計	1,169,509	1,300,579	111	1,524,894	117			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		特別支援教育就学奨励費支給割合						
指標説明(式)		該当者への支給割合						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		特別支援教育就学奨励費対象者の把握方法							
指標説明(式)		学校教育課及び学校との連携によりもれなく把握している。							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	生徒の教育の機会均等が図られている。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	法令の意図する状態に合致している。	
効率性	コストの節減	国庫補助基準を準用しているため、減額は適さない。	4
	執行体制の効率性	学校及び学校教育課との連携が不可欠。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね順調である。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	普通学級の補助対象者についても、学校等と連携し情報把握に努める必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	必要な情報や制度の周知など、速やかに各学校及び対象者へ発信する。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202010300		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	指定教育等研究研修事業		予算事業名	指定教育等研究研修事業 優先度 3	
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課	
		施策名(中)	たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	山本 哲也 担当者名 竹口 智哉	
		取組み事項	確かな学力の定着を図る		実施計画への記載	無 主要事業の指定 無	
実施計画事業名		指定教育等研究研修事業					
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	小・中学校の児童・生徒及び教諭					
	誰(何)を対象として	小・中学校の児童・生徒及び教諭					
	意図(どのような状態にしたいのか)	教諭の研修による資質の向上による適正な学校管理運営を図る。特別支援用・教師用教科書図書を補充する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要	小中学校児童・生徒の教育指導及び教師の研修による資質の向上を図り、適正な学校管理運営を推進した。従来から使用している指導書に加え、指導者用デジタル教科書を整備することで、普通教室における充実した授業を実施できる環境を構築した。					
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.084	0.120	143	0.100	83		
	臨時職員	0.012		0		-		
支出内訳	人件費	1,027,424	1,261,509	123	1,047,920	83		
	事業費	2,122,259	765,655	36	12,746,248	1,665		
	合計	3,149,683	2,027,164	64	13,794,168	680		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	3,149,683	2,027,164	64	13,794,168	680		
合計		3,149,683	2,027,164	64	13,794,168	680		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		前年比	備考
人	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標			-		-			
	実績			-		-			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	計画的な授業研究の実施により教職員の資質向上に有効であった。	4
	市民サービス	保護者の要望等に対応できる教職員の資質向上に貢献できた。	
効率性	執行体制の効率性	教職員それぞれが効率よく職務を遂行できる体制の確立を図ることができた。	5
	コストの節減	中学校指導要領改訂に伴う各教科の指導書等の購入について、十分な精査を行い、コスト削減に繋げた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	GIGAスクール構想に基づき整備したICT機器や、大型提示装置の活用を促進するための教職員への支援体制を要する。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	GIGAスクール構想に基づき整備したICT機器や、大型提示装置の活用を促進するための教職員への支援を行う。

配点	32.5
総合評価	26.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202010700		事業の種類	3		
年度	2	事務事業名	小学校一般事務経費		予算事業名	教育振興費事務経費 優先度 3		
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課		
		施策名(中)	たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	山本 哲也	担当者名	竹口 智哉
		取組み事項	確かな学力の定着を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		教育用パソコン更新						
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	小学校児童						
	誰(何)を対象として	小学校児童						
	意図(どのような状態にしたいのか)	小学校児童の学習能力の向上と学習意欲の高揚を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		読書感想文、科学研究記録の審査・表彰、運動会、オープンスクールの実施に伴う消耗品の支出、コンピュータ、インターネット維持管理。学校図書館活性化事業委託による小中学校図書館運営。GIGAスクール構想に伴うICT環境整備。					
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績		
		校	7	7	7		

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.360	0.360	100	0.252	70		
	臨時職員	6.952	7.188	103	8.168	114		
支出内訳	人件費	22,296,068	21,364,509	96	24,561,250	115		
	事業費	43,085,509	42,980,437	100	150,184,004	349		
	合計	65,381,577	64,344,946	98	174,745,254	272		
財源内訳	国庫支出金	350,000	350,000	100	54,364,000	15,533		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	65,031,577	63,994,946	98	120,381,254	188		
	合計	65,381,577	64,344,946	98	174,745,254	272		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		学校図書館業務従事者勤務日数						
指標説明(式)		1校当たりの学校図書館業務従事者勤務日数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
日	目標	120	120	100.0	120	100.0	0.0	
	実績	122	122	100.0	122	100.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	1人1台端末をはじめとするICT環境を整備することで、小学校児童の学習能力の向上と学習意欲の高揚を図った。	5
	組織運営・適正管理	交付税算定基礎数値に基づく予算の確保及び制度趣旨に沿った適正な執行を行った。	
効率性	手段の最適性	GIGAスクール構想に伴う、国の補助金を活用することで適正にICT機器の整備を推進した。	4
	執行体制の効率性	各学校において配当予算の執行が効率的に行われた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	コロナウイルス感染症対策として、前倒しすることとなったGIGAスクール構想に基づく1人1台端末や、遠隔学習環境等の整備を国の情報機器整備費補助金を活用し完了した。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	GIGAスクール構想により整備した、ICT機器の効果的な活用と更新計画の策定。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	小学校におけるICT機器の活用状況を把握し、学年に応じた運用方針を定める。

配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202010900		事業の種類	3		
年度	2	事務事業名	中学校一般事務経費		予算事業名	教育振興費事務経費	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課			
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	山本 哲也	担当者名	竹口 智哉	
取組み事項		確かな学力の定着を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	中学校生徒						
	誰(何)を対象として	中学校生徒						
	意図(どのような状態にしたいのか)	中学校生徒の学習能力の向上と学習意欲の高揚を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		読書感想文、科学研究記録の審査・表彰、運動会、オープンスクール、の実施及び音楽会参加に伴う消耗品等の支出。学校図書館活性化事業委託による学校図書室運営。GIGAスクール構想に伴うICT環境整備。					
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績		
	学校図書館従事者配置校数	校	3	3	3		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.272	0.260	96	0.252	97	
	臨時職員	0.200	0.280	140	0.880	314	
支出内訳	人件費	2,945,588	3,010,109	102	4,499,362	149	
	事業費	19,018,410	18,046,696	95	65,504,757	363	
	合計	21,963,998	21,056,805	96	70,004,119	332	
財源内訳	国庫支出金	590,000		0	24,127,000	-	
	県支出金	267,000		0		-	
	市債			-		-	
	その他	268,170		0		-	
	一般財源	20,838,828	21,056,805	101	45,877,119	218	
合計	21,963,998	21,056,805	96	70,004,119	332		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		学校図書館業務従事者勤務日数						
指標説明(式)		1校当たりの学校図書館業務従事者日数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
日	目標	40	40	100.0	40	100.0	0.0	
	実績	36	38	105.6	38	100.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	1人1台端末をはじめとするICT環境を整備することで、中学校生徒の学習能力の向上と学習意欲の高揚を図れた。	5
	組織運営・適正管理	学校教育における適正予算の配分及び執行が適正に行われた。	
効率性	手段の最適性	各校の需要に応じた予算配当により、学校規模や地域性等に見合った事業を実施できた。	4
	執行体制の効率性	教材消耗品、教材備品、図書購入費等、各学校の現状及び目的に沿った予算執行が適正に行われた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	コロナウイルス感染症対策として、前倒しすることとなったGIGAスクール構想に基づく1人1台端末や、遠隔学習環境等の整備を国の情報機器整備費補助金を活用し完了した。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	GIGAスクール構想により整備した、ICT機器の効果的な活用と更新計画の策定。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	中学校におけるICT機器の活用状況を把握し、教科等に応じた運用方針を定める。



配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202011100		事業の種類	4
年度	2	事務事業名	中学校外国人英語指導助手招致事業		予算事業名	外国人英語指導助手招致事業
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課
		施策名(中)	たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	山本 哲也
		取組み事項	確かな学力の定着を図る		担当者名	竹口 智哉
				実施計画への記載		
				主要事業の指定		
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規						
事業の目的	誰のために(具体的に)	中学校生徒				
	誰(何)を対象として	中学校生徒				
	意図(どのような状態にしたいのか)	中学校での実践的な英語学習を推進し、生徒の英語力の向上を図る。				

2 事業の概要 Do

実施の概要		中学校での実践的な英語学習を推進し、生徒の英語力の向上を図る。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	実施日数	日	219	212	216	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.120	0.120	100	0.120	100		
	臨時職員	0.040	0.040	100	0.040	100		
支出内訳	人件費	1,372,580	1,363,509	99	1,293,429	95		
	事業費	4,974,098	4,670,815	94	1,300,540	28		
	合計	6,346,678	6,034,324	95	2,593,969	43		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	6,346,678	6,034,324	95	2,593,969	43		
合計	6,346,678	6,034,324	95	2,593,969	43			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		中学校における外国人英語指導助手の勤務日数						
指標説明(式)		外国人英語指導助手の勤務日数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
日	目標	220	220	100.0	218	99.1	0.0	
	実績	218	212	97.2	216	101.9		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		生徒1人のコスト							
指標説明(式)		決算額÷生徒人数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	8,809	8,103	92.0	-	-			
	実績	7,772	7,298	93.9	-	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	生徒への効果的な英語指導が実施でき、外国人とのコミュニケーションの抵抗感が軽減された。	4
	成果の向上	生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上を図ることができた。	
効率性	執行体制の効率性	外国人英語指導助手によるネイティブの英語学習を効率的に実施することができた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	英語教諭と外国人指導助手とのチーム・ティーチング体制の確立。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	中学校英語部会を中心に、外国人指導助手の活用について検討する。



配点	32.5
総合評価	25.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202011300	事業の種類	4		
年度	2	事務事業名	ぐんぐん学力アップ事業	予算事業名	ぐんぐん学力アップ事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	山本 哲也	担当者名	竹口 智哉
取組み事項		確かな学力の定着を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	小中学校の児童・生徒					
	誰(何)を対象として	小中学校の児童・生徒					
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童生徒の学力の状況を把握し、各小・中学校で学力向上の取り組みを推進する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		全国レベルの標準学力検査(小学校4、5年 国語・算数、中学校1、2年 国語・数学・英語)を実施し、児童生徒の学力の状況を把握・分析しながら、各小中学校での学力向上の取組みを推進する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	対象者数	人	835	886	0	

3 投入資源

		一般会計					事業費単位:円	
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.152	0.148	97	0.168	114		
	臨時職員	0.008	0.008	100	0.008	100		
支出内訳	人件費	1,521,860	1,488,829	98	1,530,302	103		
	事業費	816,960	802,160	98	0	0		
	合計	2,338,820	2,290,989	98	1,530,302	67		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	2,338,820	2,290,989	98	1,530,302	67		
合計	2,338,820	2,290,989	98	1,530,302	67			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		児童・生徒一人当たりのコスト						
指標説明(式)		決算額÷児童・生徒数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
円	目標	905	970	107.2	952	98.1		
	実績	978	905	92.5	0	0.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	児童・生徒の状況を把握し、学習能力の向上を図る。	4
効率性	執行体制の効率性	標準学力検査を利用し、効果的に児童・生徒の学力向上を図る。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止	1

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	なし

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	なし

配点	32.5
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202011800		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	英語教育推進事業	予算事業名	英語教育推進事業	優先度	3
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち	担当部局名	教育委員会学校教育課		
		施策名(中)	たくましい人を育てる教育を推進する	担当課長	山本 哲也	担当者名	竹口 智哉
		取組み事項	確かな学力の定着を図る	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	幼稚園・小中学校の園児・児童・生徒					
	誰(何)を対象として	幼稚園・小中学校の園児・児童・生徒					
	意図(どのような状態にしたいのか)	幼児期から小・中学校まで、発達段階に応じた英語教育を充実し、英語のよるコミュニケーション能力を養う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		英語教育の専門家の監修やアドバイスを受けながら、幼児期から中学校卒業までの12年間を通じた体系的な取り組みを推進する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	FLT勤務日数	日	285	282	284	

3 投入資源

会計区分		一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.136	0.160	118	0.140	88		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	1,380,764	1,557,109	113	1,318,720	85		
	事業費	7,415,170	7,255,920	98	5,958,150	82		
	合計	8,795,934	8,813,029	100	7,276,870	83		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	8,795,934	8,813,029	100	7,276,870	83		
合計	8,795,934	8,813,029	100	7,276,870	83			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		英語が好きと感じる児童の割合						
指標説明(式)		小学3、4年生対象アンケート調査結果						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
%	目標	-	80.0	-	80.0	100.0	0.0	
	実績	86.2	88.5	102.7	90.8	102.6		
指標名2		1幼稚園あたりのFLT平均勤務日数						
指標説明(式)		FLT勤務日数÷6園						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
日	目標	48	47	97.9	48	102.1		
	実績	48	47	97.9	47	100.0		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	中学校卒業までの期間で、話す・聞くなど実践型の生きた英語に親しみ、コミュニケーション能力を養う。	5
	成果の向上	幼児期から中学校卒業までの12年間を通じ、一つながりで体系的な取組みを行い、実践型の生きた英語を習得する環境づくりを推進した。	
効率性	手段の最適性	教育の効果を高めるために、幼稚園、小学校については同じ委託業者の講師が継続して指導にあたっている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。 英検IBAテストについては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止とした。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	各段階における習熟度を検証するための事業を検討する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	英検IBAテストをについて、各中学校や英語部会と連携し、より効果の高い手法を検討する。



配点	32.5
総合評価	25

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202020300		事業の種類	5	
年度	2	事務事業名	小学校体験活動事業		予算事業名	小学校体験活動事業 優先度 3	
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課	
		施策名(中)	たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	山本 哲也 担当者名 竹口 智哉	
		取組み事項	豊かな心の育成を図る		実施計画への記載	無 主要事業の指定 無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	小学校児童3年生・5年生					
	誰(何)を対象として	小学校児童3年生・5年生					
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童が人や自然、地域社会と触れあい、さまざまな体験活動をとおり自分で考え問題解決する力、生命への思いやりの心を育み、生きる力を育成することを目的とする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		児童が人や自然、地域社会と触れあい、さまざまな体験活動をとおり自分で考え問題解決する力、生命への思いやりの心を育み、生きる力を育成する。			
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績
	参加数	人	473	478	456

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.104	0.120	115	0.120	100		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	1,142,876	1,261,509	110	1,183,320	94		
	事業費	6,620,000	6,620,000	100	5,420,000	82		
	合計	7,762,876	7,881,509	102	6,603,320	84		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金	3,308,000	3,308,000	100	2,682,000	81		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	4,454,876	4,573,509	103	3,921,320	86		
	合計	7,762,876	7,881,509	102	6,603,320	84		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-	-	
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-	-	

【効率性】

指標名1		児童1人のコスト							
指標説明(式)		決算額÷参加児童数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	13,996	13,849	98.9	14,320	103.4			
	実績	13,996	13,849	-	11,886	85.8			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	多くの児童が自然に接することにより、自立への高揚を図れた。	4
	期待する目標	さまざまな社会体験を得ることにより、社会に優しい人間としての育成を図ることができた。	
効率性	執行体制の効率性	計画的に行事を実施することにより、適正な実施をすることができた。	4
	手段の最適性	実施期間、場所などを慎重に検討し、コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、実施することができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	コロナウイルス感染症の影響により、自然学校の宿泊をとりやめるなど、一部の行事については見直しを行ったうえで実施した。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	コロナ禍における事業の在り方、効果的な実施方法を検討する。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	コロナ禍における事業の在り方、効果的な実施方法を検討する。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202020400		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	心豊かな体験活動推進事業		予算事業名	心豊かな体験活動推進事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	山本 哲也	担当者名	竹口 智哉
取組み事項		豊かな心の育成を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	小・中学校の児童・生徒					
	誰(何)を対象として	小・中学校の児童・生徒					
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童・生徒の社会体験により社会的自立の高揚と健全育成を目的とする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		心肺蘇生法実践研修、トライやるウィーク事業による社会体験実施により、自分を見つめ、他人を思いやる心情を育てるとともに、自律性を高め、「生きる力」を育む。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	トライやるウィーク参加人数	人	199	232	-	

3 投入資源

会計区分		一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.160	0.120	75	0.120	100		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	1,559,180	1,261,509	81	1,183,320	94		
	事業費	1,712,982	1,876,660	110	774,830	41		
	合計	3,272,162	3,138,169	96	1,958,150	62		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金	900,000	1,050,000	117	546,000	52		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	2,372,162	2,088,169	88	1,412,150	68		
合計	3,272,162	3,138,169	96	1,958,150	62			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		トライやるウィークアンケート結果(生徒)						
指標説明(式)		充実感を感じた者数÷生徒数(2年生)						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
%	目標	90	90	100.0	90	100.0	0.0	
	実績	96	94	97.9	-	-		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		トライやるウィークアンケート結果(事業者)							
指標説明(式)		生徒に変化が見られたと感じた事業者数/事業者数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
%	目標	70	70	100.0	70	100.0			
	実績	75	72	96.0	-	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	生徒の社会体験としては十分に目標達成している。	4
	市民サービス	市民の参画と協働を基盤に市民が一体となった教育の一環として機能している。	
効率性	手段の最適性	安全面等考慮し、目標に見合った成果が得られた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	生徒や指導ボランティア、教職員の感染リスクを懸念し、事業所受け入れによる「トライやる・ウィーク」は中止とし、各校において代替事業を実施した。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	コロナ禍における事業の在り方、効果的な実施方法を検討する。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	コロナ禍における事業の在り方、効果的な実施方法を検討する。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202020500		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	適応教室事業		予算事業名	適応教室事業	
優先度					3		
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課			
施策名(中)	たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	山本 哲也	担当者名	竹口 智哉	
取組み事項	豊かな心の育成を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	小・中学校の児童・生徒					
	誰(何)を対象として	小・中学校の児童・生徒					
	意図(どのような状態にしたいのか)	小・中学校の不登校児童・生徒の指導・援護による学校復帰を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		小・中学校の不登校児童・生徒に学習の援助をしながら、学校復帰へ導く。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	教育相談	件	16	14	15	
	ふれあい教室	回	6	6	6	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.080	0.080	100	0.120	150	
	臨時職員	0.818	0.402	49	0.400	100	
支出内訳	人件費	3,229,502	1,991,009	62	2,284,412	115	
	事業費	2,116,871	2,071,847	98	307,247	15	
	合計	5,346,373	4,062,856	76	2,591,659	64	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	5,346,373	4,062,856	76	2,591,659	64	
合計	5,346,373	4,062,856	76	2,591,659	64		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ふれあい教室活動						
指標説明(式)		年間活動回数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
回	目標	6	6	100.0	6	100.0	0.0	
	実績	6	6	100.0	6	100.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	保護者の理解と協力が得ながら事業を行っている。。	4
効率性	手段の最適性	個々に応じた日数・時間・学習課題・体験活動等を設定した受入を行いながら、学校復帰を図っている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	児童生徒の、個々の課題に応じた支援を充実させる。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	学校と連携した適切な指導を充実させ、児童生徒や保護者からの相談に専門的に対応できる体制の強化を図る。



配点	32.5
総合評価	25.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202020600		事業の種類	4		
年度	2	事務事業名	相生っ子かがやき顕彰事業		予算事業名	相生っ子かがやき顕彰事業 優先度 3		
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課		
		施策名(中)	たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	山本 哲也	担当者名	竹口 智哉
		取組み事項	豊かな心の育成を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	小中学校の児童・生徒						
	誰(何)を対象として	小中学校の児童・生徒						
	意図(どのような状態にしたいのか)	成績が顕著な個人・団体に対し、スポーツ・文化芸術顕彰を贈呈することにより、本市のスポーツ、文化芸術の推進を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		権威ある大会等において成績が顕著な中学生以下の者に対して、相生っ子かがやき顕彰を贈呈する。			
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績
	贈呈数	人・団体	3	4	5

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.064	0.072	113	0.072	100		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	845,516	906,789	107	858,360	95		
	事業費	15,795	17,594	111	27,378	156		
	合計	861,311	924,383	107	885,738	96		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	861,311	924,383	107	885,738	96		
	合計	861,311	924,383	107	885,738	96		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-	-	
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-	-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	スポーツ・文化芸術顕彰を贈呈することにより、本市のスポーツ・文化芸術の推進を図った。	3
効率性	執行体制の効率性	表彰対象となる成績の優秀な個人又は団体の把握に努める。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	文化芸術に関する表彰候補者の把握について、各小中学校と共通認識のもと徹底を図る。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	文化芸術に関する表彰候補者の把握について、各小中学校と共通認識のもと徹底を図る。

配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202020700		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	創意ある学校園づくり推進事業		予算事業名	創意ある学校園づくり推進事業 優先度 3	
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課	
		施策名(中)	たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	山本 哲也	担当者名 竹口 智哉
		取組み事項	豊かな心の育成を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	幼稚園・小中学校の園児・児童・生徒					
	誰(何)を対象として	幼稚園・小中学校の園児・児童・生徒					
	意図(どのような状態にしたいのか)	子どもの豊かな成長を図ることを目的として、創意ある教育活動を展開する事業に要する経費について、補助を行う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		学校、児童・生徒及び地域の実態や特性などを生かしたもので、事業を進めていくうえで、教職員、児童・生徒が一体となった主体的・創造的な取り組みが期待できる事業。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	補助件数	件	16	16	16	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.144	0.080	56	0.140	175	
	臨時職員			-		-	
支出内訳	人件費	1,440,236	965,909	67	1,318,720	137	
	事業費	4,103,900	2,215,000	54	2,049,450	93	
	合計	5,544,136	3,180,909	57	3,368,170	106	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金		150,000	-		0	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	5,544,136	3,030,909	55	3,368,170	111	
合計	5,544,136	3,180,909	57	3,368,170	106		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		補助学校園数						
指標説明(式)		補助学校園数 ÷ 総学校園数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	0.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		1校当たりのコスト							
指標説明(式)		決算額÷補助学校園数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	262,500	131,250	50.0	131,250	100.0			
	実績	256,493	138,438	54.0	128,090	92.5			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	特色ある教育活動への積極的な取り組みを行い、児童・生徒が楽しく学べる学校、保護者が安心して通わせることのできる学校の具現化を図る。	4
	成果の向上	学校、地域の特色を生かした事業計画を教職員の積極的な提案により、計画することができた。	
効率性	手段の最適性	学校、児童・生徒及び地域の実態や特性などを生かした特色ある教育活動を学校園単位に実施した。また、中学校区毎に幼・小・中連携を目的とした事業を実施した。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	コロナウイルス感染症の影響により、一部の事業が中止となったが、概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	「みんなの学校事業」の幼小中一貫の取り組みについて、各中学校区で目的を共有し、連携体制を強化する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	学校、児童・生徒及び地域の実態や特性などを生かした特色ある教育活動を計画する。



配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202030200		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	クラブ活動運営事業		予算事業名	クラブ活動運営事業	
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課			
施策名(中)	たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	山本 哲也	担当者名	竹口 智哉	
取組み事項	健やかでたくましい体づくりをする		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名		吹奏楽部楽器リース契約					
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	中学校生徒・中学校教職員					
	誰(何)を対象として	中学校生徒・中学校教職員					
	意図(どのような状態にしたいのか)	部活動を通して、生徒の協調性、社会生活への適応性を養いながら健全育成を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		部活動を通して、体力の増進、協調性、想像力の高揚を図る。 部活動指導員を配置し、顧問の負担軽減と指導の充実を図る。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	部活動数(3中学校計)	部	27	27	27	
	加入生徒数(3中学校計)	人	575	574	576	
	部活動指導員配置数	人	4	4	5	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.144	0.140	97	0.140	100	
	臨時職員			-		-	
支出内訳	人件費	1,440,236	1,409,309	98	1,318,720	94	
	事業費	1,575,221	1,566,860	99	1,763,171	113	
	合計	3,015,457	2,976,169	99	3,081,891	104	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金	306,000	306,000	-	384,000	-	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	3,015,457	2,976,169	99	2,697,891	91	
合計	3,015,457	2,976,169	99	3,081,891	104		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		部活動加入率						
指標説明(式)		部活動加入生徒数÷生徒数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
%	目標	90.0	90.0	100.0	90.0	100.0		
	実績	91.1	89.7	98.5	85.2	95.0		
指標名2		部活動指導員配置時間数						
指標説明(式)		勤務日数×2時間(1日あたり勤務時間)×部活動指導員数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
時間	目標	288	288	100.0	380	131.9		
	実績	288	288	100.0	380	131.9		

【効率性】

指標名1		吹奏楽部に係る経費							
指標説明(式)		事業費(部活動指導員に係る経費を除く)÷2校(那波中学校・双葉中学校)							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	758,300	745,500	98.3	815,000	109.3			
	実績	557,210	553,030	99.2	593,586	107.3			
指標名2		競技経験が有る教職員、部活動指導員が担当している部の割合							
指標説明(式)		競技経験が有る教職員、部活動指導員が担当している部÷部活動数(3中学校計)							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
%	目標	66.7	66.7	100.0	66.7	100.0			
	実績	70.4	70.4	100.0	70.4	100.0			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	コロナウイルス感染症の影響により活動が制限された期間もあったが、生徒の協調性、社会生活への適応性を養いながら健全育成が図れた。	5
	成果の向上	競技経験が無い教職員が顧問を務める部活動などに指導員を配置することで、顧問の指導時間の短縮による負担軽減と、専門的指導による生徒の技能向上を図った。	
効率性	手段の最適性	那波中学校、双葉中学校の吹奏楽部活動に必要な経費について、保守委託契約に関する仕様や、楽器の更新・修繕等の計画を見直すことで、予算の削減及び平準化が図れた。	4
	執行体制の効率性	教育支援体制整備事業費補助金(国1/3、県1/3、市1/3)を財源に、5名の部活動指導員を配置し、安定した部活動運営に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	コロナウイルス感染症による大会の中止など、例年どおりの活動ができない期間もあったが、感染症対策を徹底したうえで代替大会や行事を行うなど、成果は得られた。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	安定した部活動運営を実現するために、専門的な知識・技能を有する外部人材を継続的に確保する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	文化部を含む外部人材の継続的に確保のため、関係機関との連携体制を強化する。



配点	32.5
総合評価	26.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202030300		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	学校教育ペーロン祭協賛事業		予算事業名	ペーロン祭協賛球技大会事業 優先度 3	
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課	
		施策名(中)	たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	山本 哲也 担当者名 竹口 智哉	
		取組み事項	健やかでたくましい体づくりをする		実施計画への記載	無 主要事業の指定 無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	中学校生徒					
	誰(何)を対象として	中学校生徒					
	意図(どのような状態にしたいのか)	生徒の健康増進を目的として、ペーロン祭の協賛事業として実施する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		生徒の健康増進を目的としてペーロン祭に西・中播磨の中学校の上位野球部を招致し、協賛事業として実施する。 ※コロナウイルス感染症の影響により事業中止。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	野球	チーム	15	15	-	
	バレー	チーム	-	-	-	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.148	0.140	95	0.140	100		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	1,469,972	1,409,309	96	1,318,720	94		
	事業費	476,800	445,600	93	0	0		
	合計	1,946,772	1,854,909	95	1,318,720	71		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他	96,000	96,000	100		0		
	一般財源	1,850,772	1,758,909	95	1,318,720	75		
合計		1,946,772	1,854,909	95	1,318,720	71		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		参加校数						
指標説明(式)		中・西播磨中学校参加校による交流実績						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
校	目標	15	15	100.0	15	100.0	0.0	
	実績	15	15	100.0	-	-		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		参加校数によるコスト							
指標説明(式)		大会経費÷中・西播磨中学校参加校数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	32,734	31,267	95.5	29,333	93.8			
	実績	31,787	29,707	93.5	-	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	相生市中学校体育連盟と連携し、適正な運営体制を維持する。	3
効率性	執行体制の効率性	相生市中学校体育連盟と連携し、適正な運営体制を維持する。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	コロナウイルス感染症の影響により事業中止。	1

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	相生市中学校体育連盟と連携し、コロナ禍における大会運営について協議する。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	相生市中学校体育連盟と連携し、コロナ禍における大会運営について協議する。

配点	32.5
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202030400		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	学校体育振興事業		予算事業名	学校体育振興事業 優先度 3	
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課	
		施策名(中)	たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	山本 哲也 担当者名 竹口 智哉	
		取組み事項	健やかでたくましい体づくりをする		実施計画への記載	無 主要事業の指定 無	
		実施計画事業名					
		根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	小・中学校の児童・生徒					
	誰(何)を対象として	小・中学校の児童・生徒					
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童・生徒の健康づくり及び体力向上を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		小学校では、校内マラソン大会やなわとび検定及び泳力検定等により、中学校では、運動部活動や体育大会への参加等により、児童生徒の健康及び体力づくりを推進する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.080	0.080	100	0.120	150		
	臨時職員	0.012	0.020	167	0.020	100		
支出内訳	人件費	997,688	1,016,909	102	1,238,375	122		
	事業費	4,510,436	4,891,690	108	2,846,080	58		
	合計	5,508,124	5,908,599	107	4,084,455	69		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	5,508,124	5,908,599	107	4,084,455	69		
合計		5,508,124	5,908,599	107	4,084,455	69		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		県大会以上の大会出場状況						
指標説明(式)		中学校生徒の県大会以上の大会出場による部活動成果の向上の把握						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
件	目標	10	10	100.0	10	100.0	0.0	
	実績	11		0.0		-		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	コロナウイルス感染症の影響により活動が制限されたが、感染症拡大防止対策を講じながら健康及び体力づくりを推進した。	4
	組織運営・適正管理	各小中学校や関係機関と連携し、児童・生徒の健全育成を図った。	
効率性	コストの節減	バス借上げ等のための見積もり合わせを行うなど、コストの抑制に努めた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	コロナ禍における事業の在り方、効果的な実施方法を検討する。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	コロナ禍における事業の在り方、効果的な実施方法を検討する。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202030500		事業の種類	1		
年度	2	事務事業名	学校医等委嘱事業		予算事業名	学校医等委嘱事業		
		優先度	3					
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課		
		施策名(中)	たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	山本 哲也		
		取組み事項	健やかでたくましい体づくりをする		担当者名	竹口 智哉		
				実施計画への記載	無			
				主要事業の指定				無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		学校保健法(昭和三十三年四月十日法律第五十六号) 学校教育法(昭和三十二年法律第二十六号)						
事業の目的	誰のために(具体的に)	児童、生徒、学生及び園児並びに職員						
	誰(何)を対象として	児童、生徒、学生及び園児並びに職員						
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童、生徒、学生及び園児並びに職員の健康の保持増進を図り、もつて学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的とする。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		園児、児童、生徒の健康管理のために学校医、学校歯科医及び学校薬剤師を委嘱する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.104	0.120	115	0.100	83		
	臨時職員	0.020	0.020	100	0.020	100		
支出内訳	人件費	1,198,256	1,312,509	110	1,102,975	84		
	事業費	12,853,868	13,045,300	101	13,211,576	101		
	合計	14,052,124	14,357,809	102	14,314,551	100		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	14,052,124	14,357,809	102	14,314,551	100		
合計		14,052,124	14,357,809	102	14,314,551	100		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-	-	
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-	-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	児童、生徒、学生及び幼児並びに職員の健康の保持増進を図ることができた。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	法律に基づいた、健康管理が実施できた。	
効率性	コストの節減	効率的な予算執行を行った。	4
	執行体制の効率性	法律に基づいた執行体制を効率的に運営した。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	学校医が担当する学校園数や園児・児童・生徒数に偏りがある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	相生市医師会等と協議し、学校医の適正な配置を行う。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202030600		事業の種類	1		
年度	2	事務事業名	児童・生徒等健康管理委託事業		予算事業名	児童・生徒等健康管理委託事業 優先度 3		
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課		
		施策名(中)	たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	山本 哲也	担当者名	竹口 智哉
		取組み事項	健やかでたくましい体づくりをする		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		学校保健法(昭和三十三年四月十日法律第五十六号) 学校教育法(昭和三十二年法律第二十六号)						
事業の目的	誰のために(具体的に)	児童、生徒、学生及び幼児並びに職員						
	誰(何)を対象として	児童、生徒、学生及び幼児並びに職員						
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童、生徒、学生及び幼児並びに職員の健康の保持増進を図り、もつて学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的とする。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		児童、生徒、学生又は幼児及び職員の健康診断、環境衛生検査、安全点検その他の保健又は安全に関する事項について計画を立て、これを実施する。			
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績
	園児・児童・生徒心臓等検診	件	3,568	3,971	3,880
	教職員健康診断	人	195	198	192

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.136	0.160	118	0.154	96		
	臨時職員	0.024	0.020	83	0.020	100		
支出内訳	人件費	1,447,220	1,608,109	111	1,468,555	91		
	事業費	5,435,267	5,502,177	101	5,357,158	97		
	合計	6,882,487	7,110,286	103	6,825,713	96		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	6,882,487	7,110,286	103	6,825,713	96		
合計	6,882,487	7,110,286	103	6,825,713	96			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-	-	
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-	-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	児童、生徒、学生及び幼児並びに職員の健康の保持増進を図った。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	法律に基づいた、健康診断等が実施できた。	
効率性	執行体制の効率性	コロナウイルス感染症対策を徹底し、法律に基づいた検診等を効率的に運営した。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	検診時におけるコロナウイルス感染症拡大防止対策について、医師会等の関係機関との事前協議を徹底する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	検診時におけるコロナウイルス感染症対策について、関係機関と協議のうえ適切に実施する。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202030700		事業の種類	1		
年度	2	事務事業名	学校健康センター事業		予算事業名	学校健康センター事業	優先度	3
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課		
		施策名(中)	たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	山本 哲也	担当者名	竹口 智哉
		取組み事項	健やかでたくましい体づくりをする		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		独立行政法人日本スポーツ振興センター法(平成14年法律第162号)						
事業の目的	誰のために(具体的に)	義務教育諸学校等の管理下における児童、生徒等						
	誰(何)を対象として	義務教育諸学校等の管理下における児童、生徒等						
	意図(どのような状態にしたいのか)	義務教育諸学校等の管理下における児童、生徒等の災害に関する必要な給付						

2 事業の概要 Do

実施の概要		児童等の幼稚園、小・中学校における負傷、疾病などの災害につき、医療費等の災害共済給付を行う。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	加入数	人	2,337	2,384	2,353	
	給付実績	件	200	156	89	

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円	
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.224	0.220	98	0.200	91		
	臨時職員	0.200	0.080	40	0.080	100		
支出内訳	人件費	2,588,756	2,204,509	85	1,945,138	88		
	事業費	2,010,175	1,990,095	99	1,996,050	100		
	合計	4,598,931	4,194,604	91	3,941,188	94		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他	979,655		0	985,390	-		
	一般財源	3,619,276	4,194,604	116	2,955,798	70		
	合計	4,598,931	4,194,604	91	3,941,188	94		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-	-	
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		給付割合							
指標説明(式)		給付実績件数÷加入者数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
%	目標	7.4	7.3	98.6	7.6	104.1			
	実績	8.6	6.5	75.6	3.8	58.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	義務教育諸学校等の管理下における児童、生徒等の災害に関する必要な給付ができた。	3
効率性	手段の最適性	法律に基づいた保険加入。	4
	執行体制の効率性	各学校による一括加入。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	軽傷等の通院日数が少ない怪我の、給付申請件数が低調なため、保護者に制度の理解を深めていただく必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	本事業に関する給付申請等の事務手続きについて、学校と連携し申請漏れや遅滞がないよう適正管理に努める。

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202040100		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	看護専門学校運営事業		予算事業名	看護専門学校運営事業 優先度 4	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	健康福祉部看護専門学校		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	山口 猛	担当者名	山口 猛
取組み事項		地域医療に貢献できる人を育てる		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		保健師助産師看護師法及び学校教育法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	看護師を目指す学生					
	誰(何)を対象として	看護師を目指す学生が、看護師養成校に求めるニーズ					
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域社会に貢献しうる看護師を育成するために学生が学習しやすい環境作りをし、ひいては市のPR、活性化に貢献する					

2 事業の概要 Do

実施の概要		看護・介護サービスの拡充という、時代の要請に応じた専門性を持った優秀な人材を育成するため、入学試験受験者数の確保及び看護師国家試験の合格率の向上を図った。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	受験応募者数	人	265	198	164	
	国家試験合格率	%	97.1	97.2	100	

3 投入資源

		会計区分	看護学校特別会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	11.149	11.235	101	11.240	100		
	臨時職員	1.000	1.000	100	0.796	80		
支出内訳	人件費	86,020,406	85,951,359	100	78,656,892	92		
	事業費	98,588,008	105,150,339	107	109,821,657	104		
	合計	184,608,414	191,101,698	104	188,478,549	99		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	184,608,414	191,101,698	104	188,478,549	99		
合計	184,608,414	191,101,698	104	188,478,549	99			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		看護師国家試験合格率の推移						
指標説明(式)		合格者数 ÷ 受験者数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100.0	
	実績	97.1	97.2	100.1	100	102.9		
指標名2		看護師と准看護師の比率						
指標説明(式)		県が2年毎に集計(目標値は県平均値、実績値は西播磨医療圏域)平成2年調査時、県56%、西播磨41%						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
%	目標	82	82	100.0	84	102.4		
	実績	72	74	102.8	75	101.4		

【効率性】

指標名1		学生一人当りコスト							
指標説明(式)		一般会計繰入金÷学生数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	504608	563792	111.7	551000	97.7			
	実績	534303	579061	108.4	602074	104.0			

指標名2		事務経費							
指標説明(式)		報酬、給与費等、健康診断料、実習委託料、非常勤講師業務委託料を除く事務経費							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	8705000	14250000	163.7	14930000	104.8			
	実績	6840638	12849243	187.8	20232410	157.5			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	入学試験の出願者数は前年度を34人、17.2%下回った。 また、地域社会に貢献できる有能な看護職者の養成に努め、35人の卒業生全員が看護師国家試験に合格した。	4
	成果の向上	引続き進学説明会への出席や学校訪問に積極的に取り組むとともに、入学試験制度の改革を進め、優秀な学生の確保を図っていく。	
効率性	コストの節減	実習用教材等の更新経費は増加傾向にあるが、事務経費について節減及び効果的な執行に努めた。	4
	負担割合の適正化	入学金に続き授業料の改定を令和2年度入学者から適用(月額22,000円を24,200円の10%増)し、決算見込額は対前年比847,000円(2.9%)の増となった。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね順調に推移している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	出願者について、令和元年(△25.3%)に続き2年連続の減(△17.2%)となった。優秀な学生確保のための対策を検討・実施する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	令和4年度に教育カリキュラムの大幅な改正を控えている。受験生に対し訴求力の高い国家試験合格率100%の達成のため、入念な準備を進める。



配点	32.5
総合評価	26

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202050100		事業の種類	4		
年度	2	事務事業名	教育特区事業		予算事業名	教育特区事業		
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	企画総務部企画広報課		
		施策名(中)	たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	松尾 次郎	担当者名	萩原 志帆
		取組み事項	充実した高等教育の環境づくり		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		構造改革特別区域法・相生市教育特区学校設置審議会条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	特区で事業を実施しようとする者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	構造改革特区法により株式会社立の学校を設置し、その学校を運営することにより生まれる効果を相生市の活性化に結び付ける。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生学院高等学校の認可者として、相生市教育特区学校設置審議会を開催し、学校運営等の評価及び学則変更の妥当性などの審議を行う。			
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績
	審議会開催数	回	1	1	1

3 投入資源

インプット指標		一般会計			2年度決算		前年比		備考
		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	事業費単位:円		
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103			
	参事以下職員	0.112	0.124	111	0.124	100			
	臨時職員			-		-			
支出内訳	人件費	1,202,348	1,291,069	107	1,210,400	94			
	事業費	38,500	38,500	100	38,500	100			
	合計	1,240,848	1,329,569	107	1,248,900	94			
財源内訳	国庫支出金			-		-			
	県支出金			-		-			
	市債			-		-			
	その他			-		-			
	一般財源	1,240,848	1,329,569	107	1,248,900	94			
合計	1,240,848	1,329,569	107	1,248,900	94				

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		生徒数						
指標説明(式)		相生学院高等学校の生徒数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
人	目標	570	570	100.0	570	100.0	0.0	
	実績	491	575	117.1	539	93.7		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		施設に対する維持管理経費							
指標説明(式)		相生市として支出する維持管理経費(維持修繕費等)							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	-	-	-	-	-			
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	スポーツ等における知名度の向上や様々な専門コースの設定により、少子化が進む中でも生徒数を維持している。	4
	成果目標(改善)達成度	毎年の学校評価により、より充実した教育を行うための改善が図られている。	
効率性	手段の最適性	廃校の活用について、年間の賃貸料が発生するとともに高等教育において、多様な学習形態が可能となっており、効率的と考えられる。	4
	執行体制の効率性	文部科学省及び兵庫県からの通知については、効率的に行うために電子メールによる連絡を主としており、学校及び生徒への周知が効率的に行っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	学校評価の実施により、認可者として指導改善を図っている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	近年の新型コロナウイルス感染症の影響もあり、多様な学習形態の中でも、ICT等を利用した遠隔における授業形態の必要性が高まっている。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	環境も生徒の状況も多様化する中で、通信制の強みを活かし、様々な状況においても対応できる環境をつくる。



配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203010100		事業の種類	1	
年度	2	事務事業名	小学校管理事業		予算事業名	小学校管理事業	
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課	
		施策名(中)	安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	佐原 正樹	
		取組み事項	教育施設を整備する		実施計画への記載	無	
		実施計画事業名	各学校事務用コンピュータ更新		教職員用パソコン更新		
			小学校学習机更新事業		相生小学校河川法面危険樹木選定事業		
			小学校エアコン設置工事設計委託				
		根拠法規及び関連法規	相生市立学校設置条例、学校教育法				
事業の目的	誰のために(具体的に)	学校施設					
	誰(何)を対象として	施設運営管理					
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な施設管理運営により、教育環境を整備する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		良好な教育環境を確保するために小学校施設の管理運営を行う。			
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績
	学校数	校	7	7	7
	児童数	人	1,398	1,417	1,385
	学級数	クラス	73	74	74

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.384	0.384	100	0.460	120		
	臨時職員	0.200	0.200	100	0.036	18		
支出内訳	人件費	3,778,196	3,722,469	99	3,531,164	95		
	事業費	63,288,555	57,596,596	91	76,388,994	133		
	合計	67,066,751	61,319,065	91	79,920,158	130		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	67,066,751	61,319,065	91	79,920,158	130		
合計	67,066,751	61,319,065	91	79,920,158	130			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		新JIS規格の机・椅子更新において対象児童数に対する更新割合						
指標説明(式)		整備数/必要数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	0.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		児童一人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費決算額／児童数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	42,428	49,920	117.7	60,198	120.6			
	実績	45,271	40,646	89.8	55,155	135.7			

指標名2		一校当たりのコスト							
指標説明(式)		事業決算額／7校							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	8,473,571	10,105,285	119.3	11,910,714	117.9			
	実績	9,041,222	8,228,085	91.0	10,912,713	132.6			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	学校現場より消耗品費等の増額要望の声に対応できていない現状であるが、学校の創意工夫により維持できている。	5
	市民サービス	限りある予算のなかで、小学校2年生の教育環境整備のため新JIS規格の机と椅子の更新及び教職員パソコンの更新を行った。	
効率性	コストの節減	学校現場の協力により、光熱水費の増はおさえることができたが、新型コロナウイルス感染症対策費用が増大している。	5
	執行体制の効率性	学校職員との連携強化により、詳細な現状把握に努めることにより、効率性を高めることができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	小学校の教育環境整備のため、新JIS規格の机・椅子に計画的に更新する。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	セキュリティポリシーの実効性の確保が必要である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	学校と協議を進めて、実効性のあるものを構築していく。



配点	25
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203010200		事業の種類	1	
年度	2	事務事業名	中学校管理事業		予算事業名	中学校管理事業	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課		
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	佐原 正樹	担当者名	富田 大三
取組み事項		教育施設を整備する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		通学用マイクロバス運行管理委託			各中学校事務用コンピュータ更新		
		中学校学習机更新事業			教職員用パソコン更新		
		中学校エアコン設置工事委託					
根拠法規及び関連法規		相生市立学校設置条例、学校教育法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	学校施設					
	誰(何)を対象として	施設運営管理					
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な施設管理運営により、教育環境を整備する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		良好な教育環境を確保するために中学校施設の管理運営を行う。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	学校数	校	3	3	3	
	生徒数	人	631	640	678	
	学級数	クラス	22	22	25	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.352	0.352	100	0.400	114		
	臨時職員	0.200	0.200	100	0.036	18		
支出内訳	人件費	3,540,308	3,485,989	98	3,124,964	90		
	事業費	32,722,161	25,323,372	77	33,189,191	131		
	合計	36,262,469	28,809,361	79	36,314,155	126		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	36,262,469	28,809,361	79	36,314,155	126		
合計	36,262,469	28,809,361	79	36,314,155	126			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		教職員パソコンの更新台数						
指標説明(式)		正規教職員のパソコン所持割合						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	0.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		生徒一人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費決算額/生徒数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	45,168	4,7723	105.7	51,520	108.0			
	実績	51,857	39,567	76.3	48,952	123.7			

指標名2		一校当たりのコスト							
指標説明(式)		事業決算額/3校							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	9,500,333	10,181,000	107.2	11,643,666	114.4			
	実績	10,907,387	8,441,124	77.4	11,063,064	131.1			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	学校現場より消耗品費等の増額要望の声に対応できていない現状であるが、学校の創意工夫により維持できている。	5
	市民サービス	教職員パソコンの更新を行い、セキュリティポリシーの策定を行った。	
効率性	コストの節減	学校現場の協力により、光熱水費の増はおさえることができたが、新型コロナウイルス感染症対策費用が増大している。	5
	執行体制の効率性	学校職員との連携強化により、詳細な現状把握に努めることにより、効率性を高めることができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	中学校の教育環境整備のため、新JIS規格の机・椅子に計画的に更新した。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	セキュリティポリシーの実効性の確保が必要である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	学校と協議を進めて、実効性のあるものを構築していく。



配点	25
総合評価	25

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203010300		事業の種類	4		
年度	2	事務事業名	幼稚園管理事業		予算事業名	幼稚園管理事業		
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課		
		施策名(中)	安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	佐原 正樹	担当者名	富田 大三
		取組み事項	教育施設を整備する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		各幼稚園事務用コンピュータ更新						
根拠法規及び関連法規		学校教育法、相生市立幼稚園則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	幼稚園施設						
	誰(何)を対象として	施設運営管理						
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な施設管理運営により、教育環境を整備する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		良好な教育環境を確保するために幼稚園施設の管理運営を行う。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	幼稚園数	園	6	6	6	
	園児数	人	380	340	307	
	クラス数	クラス	20	19	18	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.280	0.280	100	0.300	107	
	臨時職員	0.200	0.200	100	0.036	18	
支出内訳	人件費	3,005,060	2,953,909	98	2,501,018	85	
	事業費	45,252,683	10,053,960	22	16,814,688	167	
	合計	48,257,743	13,007,869	27	19,315,706	148	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	48,257,743	13,007,869	27	19,315,706	148	
合計	48,257,743	13,007,869	27	19,315,706	148		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		園児数						
指標説明(式)		市立幼稚園園児数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
人	目標	420	400	95.2	350	87.5	0.0	
	実績	380	340	89.5	307	90.3		
指標名2		市立幼稚園就園率						
指標説明(式)		対象児童数における市立幼稚園就園率						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
%	目標	60.0	60.0	100.0	55.0	91.7		
	実績	55.1	53.6	97.3	41.0	76.5		

【効率性】

指標名1		各年度の決算額							
指標説明(式)		事業費決算額(令和1年度まで臨時職員賃金及びパート職員賃金含)							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	-	-	-	13,677,000	-			
	実績	45,252,683	35,473,795	78.4	16,814,688	47.4			

指標名2		1園当たりのコスト							
指標説明(式)		事業決算額/6園							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	-	-	-	2,279,500	-			
	実績	7,542,113	5,912,299	78.4	2,802,445	47.4			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	3歳児保育の実施により、幼児の豊かな心の育成、基本的な生活習慣の形成が図れている。	4
	成果目標(改善)達成度	就園率が低下している。	
効率性	コストの節減	新型コロナウイルス感染症対策費に関する臨時的経費により、決算額が増加している。	3
	執行体制の効率性	臨時職員及びパート職員の人数により、年度間の増減があるが、効率的な園運営との費用対効果を検証している。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	教育わくわくプランに基づいて進めている。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	幼児教育保育の無償化等により、就園率が低下している。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	就学前児童全体の在り方について、市長部局とも検討を行う。



配点	32.5
総合評価	29.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203010400		事業の種類	6			
年度	2	事務事業名	小学校施設整備事業		予算事業名	小学校施設整備事業 優先度 3			
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課			
		施策名(中)	安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	佐原 正樹	担当者名	國重 勉	
		取組み事項	教育施設を整備する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
		実施計画事業名	小学校その他工事		小学校施設整備				
			各小学校プールろ材入れ替え		矢野川小中学校整備事業				
		根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)		小学校児童						
	誰(何)を対象として		施設整備						
	意図(どのような状態にしたいのか)		安全安心な教育環境の整備						

2 事業の概要 Do

実施の概要		安全安心な教育環境を確保するために小学校施設の営繕工事を行う。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	維持修繕件数	件	66	67	74	
	工事請負件数	件	12	9	33	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.540	0.540	100	0.460	85		
	臨時職員	0.040	0.040	100	0.004	10		
支出内訳	人件費	4,494,860	4,467,309	99	3,496,131	78		
	事業費	25,648,291	342,768,559	1,336	124,695,782	36		
	合計	30,143,151	347,235,868	1,152	128,191,913	37		
財源内訳	国庫支出金		54,053,000	-		0		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	30,143,151	293,182,868	973	128,191,913	44		
合計	30,143,151	347,235,868	1,152	128,191,913	37			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		耐震化率						
指標説明(式)		小学校施設の耐震化率						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	0.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	老朽化等による改修箇所が増加、緊急的な修繕対応の必要性等により、目標値の設定が困難である。	4
効率性	手段の最適性	施設の老朽化により改修箇所が増加していることや突発的な緊急修繕が必要な場合があるが、原則的には、適切な優先順位を持って改修を進めている。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	突発的な緊急修繕が必要な場合があるが、原則的には適切な優先順位を持って改修を進めている。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	児童の安全を最優先に考え、優先順位を持って改修を進める。

配点	32.5
総合評価	26.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203010500		事業の種類	6		
年度	2	事務事業名	中学校施設整備事業		予算事業名	中学校施設整備事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課			
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	佐原 正樹	担当者名	國重 勉	
取組み事項		教育施設を整備する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名		中学校その他工事			中学校施設整備			
		各中学校ろ材入れ替え						
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	中学校生徒						
	誰(何)を対象として	施設整備						
	意図(どのような状態にしたいのか)	安全安心な教育環境の整備						

2 事業の概要 Do

実施の概要		安全安心な教育環境を確保するために中学校施設の営繕工事を行う。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	維持修繕件数	件	39	29	31	
	工事請負件数	件	8	6	18	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.364	0.364	100	0.320	88		
	臨時職員	0.040	0.040	100	0.004	10		
支出内訳	人件費	3,186,476	3,166,669	99	2,542,436	80		
	事業費	20,186,620	238,288,327	1,180	76,605,875	32		
	合計	23,373,096	241,454,996	1,033	79,148,311	33		
財源内訳	国庫支出金		30,535,000	-		0		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	23,373,096	210,919,996	902	79,148,311	38		
合計	23,373,096	241,454,996	1,033	79,148,311	33			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		耐震化率						
指標説明(式)		中学校施設の耐震化率						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0		0.0
	実績	100	100	100.0	100	100.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	老朽化等による改修箇所が増加及び緊急的な修繕対応の必要性等により、目標値の設定が困難である。	4
効率性	手段の最適性	施設の老朽化等により改修箇所が増加していることや突発的な緊急修繕が必要な場合があるが、原則的には、適切な優先順位を持って改修を進めている。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	突発的な緊急修繕が必要な場合があるが、原則的には、適切な優先順位を持って改修を進めている。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	生徒の安全を最優先に考え、優先順位を持って改修を進める。

配点	32.5
総合評価	26.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203010600		事業の種類	6		
年度	2	事務事業名	幼稚園施設整備事業		予算事業名	幼稚園施設整備事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課			
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	佐原 正樹	担当者名	國重 勉	
取組み事項		教育施設を整備する		実施計画への記載	有	主要事業の指定	有	
実施計画事業名		幼稚園その他工事		幼稚園施設整備				
		幼稚園総合遊具等更新		幼稚園エアコン設置工事設計委託				
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	幼稚園児						
	誰(何)を対象として	施設整備						
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な教育環境の整備						

2 事業の概要 Do

実施の概要		安全安心な教育環境を確保するために幼稚園施設の営繕工事を行う。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	維持修繕件数	件	14	8	22	
	工事請負件数	件	4	4	8	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.320	0.320	100	0.276	86	
	臨時職員	0.040	0.040	100	0.004	10	
支出内訳	人件費	2,859,380	2,841,509	99	2,244,556	79	
	事業費	8,080,128	57,127,980	707	16,063,806	28	
	合計	10,939,508	59,969,489	548	18,308,362	31	
財源内訳	国庫支出金		10,095,000	-		0	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	10,939,508	49,874,489	456	18,308,362	37	
合計	10,939,508	59,969,489	548	18,308,362	31		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		耐震化率						
指標説明(式)		幼稚園施設の耐震化率						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0		0.0
	実績	100	100	100.0	100	100.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	園舎は、学校施設の中では、比較的新しい建物が多いが、老朽化等による改修箇所が増加傾向にあるため、突発的な修繕の必要性により、目標値を設定することが困難である。	4
効率性	手段の最適性	老朽化してきている施設もあり、修繕箇所が増加していることや突発的な緊急修繕が必要な場合があるが、原則的には、適切な優先順位を持って改修を進めている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	施設の老朽化が進んでいる施設もあり、老朽化に伴う修繕の必要性が増加している。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	園児の安全確保を優先に考え、適切な優先順位を持って改修を進める。



配点	32.5
総合評価	25.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203010700		事業の種類	2	
年度	2	事務事業名	学校教育施設整備基金事業		予算事業名	学校教育施設整備基金事業 優先度 3	
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課	
		施策名(中)	安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	佐原 正樹 担当者名 富田 大三	
		取組み事項	教育施設を整備する		実施計画への記載	無 主要事業の指定 無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	学校施設					
	誰(何)を対象として	施設維持管理					
	意図(どのような状態にしたいのか)	教育環境整備を実施するための基金					

2 事業の概要 Do

実施の概要		学校施設の維持管理のために要する工事及び修繕等に必要経費に充てる基金の積み立て、基金の活用を図る。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	積立額	円	1,960,320	2,008,701	2,010,119	
	基金総額	円	17,186,177	19,194,878	21,204,997	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.008	0.008	100	0.008	100		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	429,212	433,829	101	425,080	98		
	事業費	1,974,162	2,008,701	102	2,010,119	100		
	合計	2,403,374	2,442,530	102	2,435,199	100		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	2,403,374	2,442,530	102	2,435,199	100		
合計		2,403,374	2,442,530	102	2,435,199	100		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-	-	
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-	-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	施設の老朽化対策等にあてるため、旧相生中学校の使用料を継続して基金に積み立てを行った。	4
効率性	手段の最適性	普通財産である旧相生中学校の貸付料の額を積み立てており、手段は最適である。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	基金の使用計画を検討する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	今後の施設改修計画において、合致する工事等に財源として検討する。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203020100		事業の種類	4		
年度	2	事務事業名	相生市奨学金事業		予算事業名	相生市奨学金事業		
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課		
		施策名(中)	安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	佐原 正樹	担当者名	松本 千華
		取組み事項	教育の機会均等を確保する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		市奨学金基金条例、市奨学金支給規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	修学の意欲と能力があるにも関わらず、経済的理由により修学することが困難な生徒の保護者						
	誰(何)を対象として	進学または進級に係る支度金						
	意図(どのような状態にしたいのか)	ひとしく高等学校等で教育を受ける機会を与える。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		高等学校等に在籍するもののうち、能力があるにもかかわらず、経済的理由により修学困難な者への進学または進級の支度金として35,000円を援助する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	申請者数	人	29	17	21	
	認定者数	人	25	16	18	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.124	0.124	100	0.120	97		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	1,291,556	1,291,069	100	1,183,320	92		
	事業費	875,000	560,000	64	630,000	113		
	合計	2,166,556	1,851,069	85	1,813,320	98		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他	875,000	560,000	64	630,000	113		
	一般財源	2,166,556	1,291,069	60	1,183,320	92		
合計		2,166,556	1,851,069	85	1,813,320	98		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		奨学生の認定割合						
指標説明(式)		申請者に対する認定者数の割合						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	0.0	
	実績	86.2	94.1	109.2	85.7	91.1		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		奨学金の周知方法							
指標説明(式)		奨学金制度を周知するための方法							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
種類	目標	5	5	100.0	5	100.0			
	実績	5	5	100.0	5	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	修学意欲と能力のある生徒への援助幅を広げるため、認定基準の見直しを行っている。	4
	市民サービス	学力要件を設けることで、目的に合致する対象者にサービスが提供できている。	
効率性	執行体制の効率性	成績点と申請世帯の収入状況を示す生活点を考え合わせ、教育委員会に提案し議決することにより奨学生を決定する手段は最適である。	4
	手段の最適性	広報紙、HP、リーフレットに加えて中学校や近隣高校に事業案内を行い、必要な人が知ることができるように努めている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	申請数が横ばいとなっているのは、制度の周知も一要因として考えられる。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	中学3年時の周知強化を検討する。



配点	32.5
総合評価	25.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203020200		事業の種類	1		
年度	2	事務事業名	小学校要・準要保護児童就学援助事業		予算事業名	小学校要・準要保護児童就学援助事業		
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課		
		施策名(中)	安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	佐原 正樹	担当者名	松本 千華
		取組み事項	教育の機会均等を確保する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
		実施計画事業名						
		根拠法規及び関連法規	学校教育法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	経済的な理由により、学校への就学が困難な児童						
	誰(何)を対象として	学費の一部						
	意図(どのような状態にしたいのか)	経済的援助を行う						

2 事業の概要 Do

実施の概要		経済的な理由により学校への就学が困難な児童に対し、学用品費、通学費などの一部を支給し、支援をする。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	対象(認定)人員	人	36	36	21	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.096	0.096	100	0.108	113		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	1,083,404	1,084,149	100	1,102,080	102		
	事業費	1,632,371	1,516,858	93	2,531,394	167		
	合計	2,715,775	2,601,007	96	3,633,474	140		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	2,715,775	2,601,007	96	3,633,474	140		
	合計	2,715,775	2,601,007	96	3,633,474	140		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		教育の機会均等						
指標説明(式)		経済的な理由により学校への就学が困難な生徒に対し、学用品費、通学費などの一部を支給することで教育の機会均等を図る。						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-	-	
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	児童の教育の機会均等が図られている。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	就学困難と認められる学童児童生徒の保護者に対して、必要な援助を行うことは法令からみて効果がある。	
効率性	手段の最適性	認定基準に基づき認定しているため、手段は最適である。	4
	執行体制の効率性	認定にあたり学校、学校教育課などの関係部署との連携が図れた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	新入学生の把握方法が課題である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	ホームページ及びチラシ等での情報を周知するとともに、小中学校の兄弟等から把握する。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203020300		事業の種類	1		
年度	2	事務事業名	中学校要・準要保護生徒就学援助事業		予算事業名	中学校要・準要保護生徒就学援助事業		
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課		
		施策名(中)	安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	佐原 正樹	担当者名	松本 千華
		取組み事項	教育の機会均等を確保する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
		実施計画事業名						
		根拠法規及び関連法規	補助金等適正化法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	経済的な理由により、学校への就学が困難な生徒						
	誰(何)を対象として	学費の一部						
	意図(どのような状態にしたいのか)	経済的援助を行う						

2 事業の概要 Do

実施の概要		経済的な理由により学校への就学が困難な生徒に対し、学用品費、通学費など学費の一部を支給し、支援をする。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	対象(認定)人員	人	34	33	20	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.096	0.096	100	0.108	113		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	1,083,404	1,084,149	100	1,102,080	102		
	事業費	2,962,159	2,971,659	100	2,534,710	85		
	合計	4,045,563	4,055,808	100	3,636,790	90		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	4,045,563	4,055,808	100	3,636,790	90		
	合計	4,045,563	4,055,808	100	3,636,790	90		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		教育の機会均等						
指標説明(式)		経済的な理由により学校への就学が困難な生徒に対し、学用品費、通学費などの一部を支給することで教育の機会均等を図る。						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	生徒の教育の機会均等が図られている。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	就学困難と認められる学童児童生徒の保護者に対して、必要な援助を行うことは法令からみて効果がある。	
効率性	コストの節減	認定基準に基づき認定しているため、手段は最適である。	4
	執行体制の効率性	認定にあたり学校、学校教育課などの関係部署との連携が図れた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	新たな課題などにより、必要な援助を把握することが必要である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	新入学時に負担が大きい制服について、リユースなどの検討を行う。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203020400		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	小学校通学費補助事業	予算事業名	小学校通学費補助事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課		
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	佐原 正樹	担当者名	松本 千華
取組み事項		教育の機会均等を確保する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		市通学費補助金交付規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	遠距離通学児童保護者					
	誰(何)を対象として	通学費					
	意図(どのような状態にしたいのか)	経済的な援助を行う					

2 事業の概要 Do

実施の概要		通学距離が3キロ以上でバスを利用して通学する児童に対し、その経費の全額を補助する。					
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績		
	対象人員	人	10	12	9		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.072	0.072	100	0.076	106	
	臨時職員			-		-	
支出内訳	人件費	904,988	906,789	100	885,440	98	
	事業費	405,640	468,370	115	393,770	84	
	合計	1,310,628	1,375,159	105	1,279,210	93	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	1,310,628	1,375,159	105	1,279,210	93	
合計	1,310,628	1,375,159	105	1,279,210	93		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		対象児童における補助活用者割合						
指標説明(式)		通学距離が3キロ以上(野瀬、鵜浜、矢野町)で公共交通機関を利用して通学する児童のうち、補助申請数割合						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	0.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)		補助金支給方法について、学期ごとを選択している。							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	通学費を全額補助することで、相生市の子育て支援策として経済的支援となっている。	5
	市民サービス	公共交通機関のない地区へのタクシー利用や適応教室へ通学する児童への助成も行っており、居住地に関わらず、小学校への通学に対して無料という環境を整備していることは、市民サービスの観点からも充実している。	
効率性	コストの節減	スクールバスの運行も考えられるが、対象者を考えると費用対効果においては現在の補助制度が妥当である。	5
	手段の最適性	補助金の支給については、学期ごとに行っており、妥当である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	順調である。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	現状、課題はない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	現状を維持する。

配点	32.5
総合評価	28.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203020500		事業の種類	4		
年度	2	事務事業名	中学校通学費補助関係事業		予算事業名	中学校通学費補助関係事業 優先度 3		
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課		
		施策名(中)	安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	佐原 正樹	担当者名	松本 千華
		取組み事項	教育の機会均等を確保する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		市通学費補助金交付規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	遠距離通学児童保護者						
	誰(何)を対象として	通学費						
	意図(どのような状態にしたいのか)	経済的な援助を行う						

2 事業の概要 Do

実施の概要		通学距離が5キロ以上でバスを利用して通学する生徒に対し、その経費の全額を補助する。					
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績		
	対象人員	人	1	0	0		

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.056	0.056	100	0.060	107		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	786,044	788,549	100	777,120	99		
	事業費	161,562	134,244	83	119,412	89		
	合計	947,606	922,793	97	896,532	97		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	947,606	922,793	97	896,532	97		
	合計	947,606	922,793	97	896,532	97		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		対象生徒者数						
指標説明(式)		対象人員						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
人	目標	1	1	100.0	1	100.0	0.0	
	実績	1	0	0.0	0	-		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	相生市の子育て支援策として通学費を全額補助することで、経済的支援となった。	5
	市民サービス	居住地に関係なく通学に要する費用の心配がないので、市民サービスが高い。	
効率性	コストの節減	一部補助という考え方にすればコスト縮減がはかれるが、当該事業目的としては全額補助による意義が強いと考えているため、縮減は困難である。	4
	手段の最適性	補助金の支給については、学期ごとに行っており、適当である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	適応教室通学者も対象としており、現状では課題がない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	現状を維持していく。

配点	32.5
総合評価	26.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203030100		事業の種類	4		
年度	2	事務事業名	教育研究所運営事業		予算事業名	教育研究所運営事業 優先度 3		
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課			
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	山本 哲也		担当者名	竹口 智哉
取組み事項		子どものやる気を引き出す教職員を育成する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	学校教職員、幼稚園教諭						
	誰(何)を対象として	学校教職員、幼稚園教諭						
	意図(どのような状態にしたいのか)	研修等により学校教職員、幼稚園教諭の資質を向上させ、より充実した学校教育を推進する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		教育研究所を中心に、教科指導や生徒指導などの実践的指導力の向上を図る研修講座を実施し、優れた資質・能力を持った教職員の育成に努める。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	研修会開催	回	10	10	-	
	研修会開催	人	310	236	-	

3 投入資源

		一般会計						事業費単位:円	
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比			備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103			
	参事以下職員	0.128	0.160	125	0.160	100			
	臨時職員	0.114	0.113	99	0.020	18			
支出内訳	人件費	1,636,958	1,845,259	113	1,509,175	82			
	事業費	3,854,968	2,700,905	70	1,110,293	41			
	合計	5,491,926	4,546,164	83	2,619,468	58			
財源内訳	国庫支出金			-		-			
	県支出金			-		-			
	市債			-		-			
	その他			-		-			
	一般財源	5,491,926	4,546,164	83	2,619,468	58			
合計	5,491,926	4,546,164	83	2,619,468	58				

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		研修講座1回当たりの参加人数							
指標説明(式)		研修参加教職員数÷実施回数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		前年比	備考
人	目標	28	30	107.1	25	83.3		0.0	
	実績	31	24	77.4	-	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

【効率性】

指標名1		研修講座1回当たりの参加人数							
指標説明(式)		研修参加教職員数÷実施回数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
人	目標	28	30	107.1	25	83.3			
	実績	31	24	77.4	-	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	研究研修等により教職員の資質向上に有効である。	4
効率性	コストの節減	研修内容の見直しにより、コスト削減に努めた。	4
	手段の最適性	コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底のうえ、研究部会単位での研修を実施した。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	夏季休業期間の短縮や、コロナウイルス感染症の影響により、当初計画していた研究所主催の研修講座は中止とし、研究部会単位での研修のみ実施した。	2

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	コロナ禍における研修運営の再検討を要する。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	実施方法、参加人数等を精査し、コロナ禍における研修運営を検討する。

配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203040800		事業の種類	4		
年度	2	事務事業名	預かり保育事業		予算事業名	預かり保育事業		
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課		
		施策名(中)	安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	佐原 正樹	担当者名	松本 千華
		取組み事項	子どもの育成環境の充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市立幼稚園預かり保育条例、相生市立幼稚園預かり保育条例施行規則、幼稚園教育要領(文科省)						
事業の目的	誰のために(具体的に)	預かり保育を希望する園児及び保護者						
	誰(何)を対象として	希望する園児						
	意図(どのような状態にしたいのか)	通常保育後の教育活動						

2 事業の概要 Do

実施の概要		希望する園児(4歳児及び5歳児)に対して通常保育終了後、17時00分まで延長して教育活動を実施する。			
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績
	月平均利用者数	人	59	96	117

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.156	0.156	100	0.156	100		
	臨時職員	0.024	2.356	9.817	3.721	158		
支出内訳	人件費	1,595,900	7,535,349	472	6,186,199	82		
	事業費	555,597	565,925	102	535,628	95		
	合計	2,151,497	8,101,274	377	6,721,827	83		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他	3,370,000	1,650,000	49		0		
	一般財源	-1,218,503	6,451,274	-529	6,721,827	104		
合計	2,151,497	8,101,274	377	6,721,827	83			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		月平均利用者数						
指標説明(式)		全市立幼稚園における預かり保育月平均利用者数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
人	目標	70	70	100.0	100	142.9		0.0
	実績	59	96	162.7	117	121.9		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		利用者一人あたりのコスト							
指標説明(式)		総事業費決算額／利用者数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	25,516	32,064	125.7	75,470	235.4			
	実績	36,466	84,388	231.4	57,451	68.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	保護者からは、ゆとりを持って子育てを行うことができたなどの声も聞かれており、子育て支援としての成果目標は達成している。	5
	市民サービス	市立幼稚園に通う全利用者うを均一に無料化していることから、市民サービスに寄与できている。	
効率性	コストの節減	減免世帯があることから歳入は減少している。	3
	執行体制の効率性	専門の支援員を雇用し、園長の指揮の元、事業運営している。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	現時点においては、順調に事業を展開している。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	指導員の確保が課題である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	指導員の資格について、研修等の受講について検討を行う。

配点	32.5
総合評価	30.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203040900		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	市立幼稚園保育料軽減事業		予算事業名	優先度	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課		
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	担当者名		
取組み事項		子どもの育成環境の充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市立幼稚園入園料及び保育料徴収条例、相生市立幼稚園入園料及び保育料徴収条例施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市立幼稚園に通園する園児					
	誰(何)を対象として	相生市内に住所を有する園児					
	意図(どのような状態にしたいのか)	幼稚園への就園機会の拡充、園児数拡大による幼稚園教育の充実及び子育て世帯の経費の負担軽減					

2 事業の概要 Do

実施の概要		市内公立幼稚園に通園する市内に住所を有する園児の保育料を無料とする。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	園児数(5月1日現在)	人	380	340		
	就園率	%	55.0	51.9		

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.008	0.008	100		0	
	臨時職員			-		-	
支出内訳	人件費	429,212	433,829	101	370,920	85	
	事業費			-		-	
	合計	429,212	433,829	101	370,920	85	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	429,212	433,829	101	370,920	85	
合計	429,212	433,829	101	370,920	85		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		相生市立幼稚園園児数						
指標説明(式)		5月1日現在の全6園総園児数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
人	目標	380	340	89.5	307	90.3	0.0	
	実績	380	340	89.5		0.0		
指標名2		保育料無料化相当額						
指標説明(式)		市内に住所を有する園児に係る無料化相当額						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
円	目標	27,144,000	22,242,000	81.9	0	0.0		
	実績	26,844,000	12,126,000	45.2		0.0		

【効率性】

指標名1		市外通園者数							
指標説明(式)		市外に住所を有する者からの保育料徴収件数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
件	目標	3	3	100.0	0	0.0			
	実績	4	3	75.0		0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	市内園児の就園率については、当事業実施後も大きな変化はないが、これは幼児が通う施設の棲み分けが出来ているからであると判断している。	
	市民サービス	国と市の施策の違いがあるが、子育て世帯の経済負担の軽減は図れている。	
効率性	手段の最適性	3～5歳児は全て無償化となったことで、市外の利用者の徴収事務がなくなり簡素化された。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	保護者より評価を得ており、目的に沿った事業運営が図られている。	

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203041000		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	矢野・若狭野小学校交流事業		予算事業名	矢野・若狭野小学校交流事業 優先度 3	
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課	
		施策名(中)	安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	山本 哲也	担当者名 竹口 智哉
		取組み事項	子どもの育成環境の充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	矢野小学校、若狭野小学校の児童					
	誰(何)を対象として	矢野小学校、若狭野小学校の児童					
	意図(どのような状態にしたいのか)	合同授業等を行うなどの交流を続け、教育的な効果が得られるようにする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		学年単位で合同授業及び行事を実施し、両校の児童間の交流を図る。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	実施回数	回	22	20	2	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.120	0.140	117	0.120	86	
	臨時職員			-		-	
支出内訳	人件費	1,261,820	1,409,309	112	1,183,320	84	
	事業費	116,640	68,200	58	0	0	
	合計	1,378,460	1,477,509	107	1,183,320	80	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	1,378,460	1,477,509	107	1,183,320	80	
合計	1,378,460	1,477,509	107	1,183,320	80		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	学習集団の変化による、学習意欲の高まりと子ども同士の学び合いの活性化を図った。	3
効率性	手段の最適性	長期的な視野で、より教育的な効果が得られる授業を計画・実施する。	3
	コストの節減	参加人数を考慮のうえ、公用車や市所有マイクロバスを使用することで、バス賃借料の縮減に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	コロナウイルス感染症の影響により、校外での交流事業については中止することとなった。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	事業計画が固定化されつつあるため、児童数や学年、ニーズに応じた計画を立案する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	事業計画が固定化されつつあるため、児童数や学年、ニーズに応じた計画を立案する。

配点	32.5
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203041100	事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	相生市小中一貫教育推進事業	予算事業名	相生市小中一貫教育推進事業	
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち	担当部局名	教育委員会学校教育課	
		施策名(中)	安心して学べる教育環境をつくる	担当課長	山本 哲也	
		取組み事項	子どもの育成環境の充実を図る	担当者名	竹口 智哉	
			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規						
事業の目的	誰のために(具体的に)	幼・小・中学校の園児・児童・生徒				
	誰(何)を対象として	幼・小・中学校の園児・児童・生徒				
	意図(どのような状態にしたいのか)	幼・小・中学校の12年間を通して継続的な教育を行い、子どもたちの能力を最大限に伸ばす。				

2 事業の概要 Do

実施の概要		一貫性を持った教育推進に向けた、研究会の実施及び先進地等の視察を検討する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.132	0.180	136	0.180	100		
	臨時職員	0.008		0		-		
支出内訳	人件費	1,373,180	1,704,909	124	1,589,520	93		
	事業費	52,740	110,339	209	19,948	18		
	合計	1,425,920	1,815,248	127	1,609,468	89		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	1,425,920	1,815,248	127	1,609,468	89		
合計	1,425,920	1,815,248	127	1,609,468	89			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	幼稚園教育と義務教育9年間を見通した系統性・継続性のある教育による児童・生徒の健全育成・学力の向上を目指す。	4
	成果の向上	中学校区ごとに「めざす子ども像」を明確にし、学校・家庭・地域の連携による教育環境づくりを行った。	
効率性	手段の最適性	先進自治体での研修については、コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施を見送ることとした。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	先進自治体での研修については、コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施を見送ることとしたが、概ね計画通りに進捗している。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	先進地視察や、事例研究により得た情報・成果を教職員へ、フィードバックする体制を構築する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	幼稚園を含めた、幼小中一貫の取り組みを推進する。

配点	32.5
総合評価	22